

# 和の光

宝塚市立西谷中学校



面接練習が進んでいます

校長 筒井 啓介

公立高校の推薦・特色選抜、私立高校の入試に向けて面接の練習を行っています。みんな真剣に面接に臨んでおり、自分の考えをしっかりと述べる事ができています。面接後に感想を聞いてみると、「緊張しました」「他の人の答えと比べてしまう。みんなの回答が凄くて、不安になってきた」など様々な声を聞かせてくれました。

受検（受験）する高校によって面接形式は異なります（個人面接または集団面接）が、私はみなさんの面接に臨む姿を見てみると、今までに友人、学年の先生方と面接練習を積み上げた成果が十分に感じ取れます。あとは、**当日（教科の筆記、小論文、面接など）に落ち着いて臨み、今までに身に付けた力を出し切る事、そして最後まで諦めないことが重要だ**と思います。

**さあ、自分の力を信じて受検（受験）に臨んで行こう！！**

- 「過去を後悔しなくていい。未来に怯えなくていい。  
そんなところを見るのではなく、いまこの時に集中しなさい。」  
アルフレッド・アドラー（オーストリアの精神科医）
- 「必要なことはただ一つ、できると信じることだ。」  
トニー・ロビンズ（アメリカの自己啓発書作家）
- 「自分で自分を諦めなければ、人生に「負け」はない。」  
斎藤 茂太（精神科医・随筆家）
- 「人前で緊張するのは自然な反応です。プレッシャーが人を強くします。逃げ出したくなるような感覚がなくなったら、モチベーションもなくなってしまうような気がします。  
緊張した時はこういしましょう。「緊張してきた。よっしゃあー！」  
松岡 修造（元プロテニス選手・スポーツ解説者）
- 「夢をみることができるならあなたはそれを実現できる。」  
ウォルト・ディズニー（ディズニー）
- 「小さいことを重ねることが、とんでもないところに行くただひとつの道。」  
イチロー（元メジャーリーガー）
- 「今日なしえるだけのことに、全力を尽くせ。しからば明日は一段の進歩があろう。」  
アイザック・ニュートン（物理学者）

樹

吉野 弘

人もまた、一本の樹ではなかろうか。  
樹の自己主張が枝を張り出すように  
人のそれも、見えない枝を四方に張り出す。

身近な者同士、許し合えぬことが多いのは  
枝と枝とが深く交差するからだ。  
それとは知らず、いらだって身をよじり  
互いに傷つき折れたりもする。

仕方のないことだ  
枝を張らない自我なんて、ない。  
しかも人は、生きるために歩き回る樹  
互いに刃をまじえぬ苦がない。

枝の繁茂しすぎた山野の樹は  
風の力を借りて 梢を激しく打ち合わせ  
密生した枝を払い落す——と  
庭師の語るのを聞いたことがある。

人は、どうなのだろう？  
剪定鋏を私自身の内部に入れ、小暗い自我を  
刈り込んだ記憶は、まだ、ないけれど。

吉野 弘 詩集より

## ■仲間と共に学ぶ楽しさ～3年生・家庭科～



さつま芋と林檎をカットします

3年生が家庭科の授業で、「さつま芋と林檎のホットケーキ」づくりに取り組みました。限られた時間ですが、班のメンバーと協力しながら手際よく調理する姿に感心しました。出来上がったホットケーキはみんなで仲良く談笑しながら美味しくいただきました。（1月29日）





さつま芋と林檎をカットします



気分はパティシエです



味見をしてみます！！



ホットケーキミックスと具材を混ぜます



フライパンで生地を焼きます



さつま芋と林檎を炒めます



美味しそうな出来栄です！！



メレンゲづくりに取り組みます



みんなで仲良く試食します

